

建築基準法（4分割法）

建物名 伏図次郎

4 分割法判定表

4 分割法存在壁量明細表

4 分割法平面図

4 分割法床面積根拠図

4 分割法床面積計算表

■注意事項

- ・平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」に基づき、壁量充足率および壁率比を用いて軸組を釣合い良く配置する方法に準拠した計算を行います。
- ・4分割法と偏心率の判定結果については、平成12年建設省告示第1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」により、いずれかの判定が適合となること、とされています。

4分割法判定表

日付: 2008年11月12日
 建物コード: 000002
 建物名: 伏図次郎

■ 建物情報

屋根の重さ	軽い屋根
建物の階数	2階建て

■ 壁量係数

壁量係数	軽い屋根	重い屋根
2階建の2階	15	21
2階建の1階	29	33
平屋建または下屋	11	15

■ 建物長さ1/4長さ

階	方向	全長(m)	1/4長さ(m)
2	X	9.100	2.275
	Y	7.280	1.820
1	X	12.740	3.185
	Y	7.280	1.820

■ 使用壁材一覧

材種名	壁倍率	注意事項
筋かい(45×90)(たすき掛け)	2.0(4.0)	

・設計者が任意に追加した材種の行は網掛け(□)で表示されます。

■ 判定

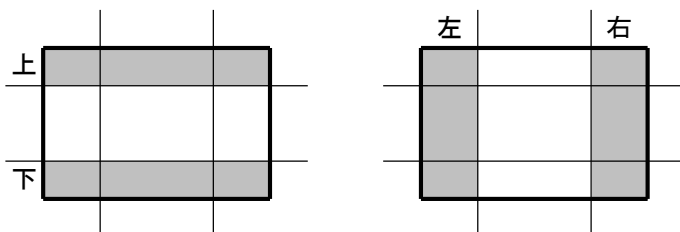
階	方向	位置	有効面積	壁量係数	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	充足率判定	壁率比	壁率比判定	判定
			①	②	③=①×②	④	⑤=④÷③	⑤>1.00	⑥=⑤小÷⑤大	⑥≥0.5	AorB=○
2	X	上	16.57	15	248.55	546.00	2.19	○	-	-	○
		下	13.25	15	198.75	546.00	2.74	○	-	-	○
	Y	左	9.94	15	149.10	728.00	4.88	○	-	-	○
		右	16.57	15	248.55	546.00	2.19	○	-	-	○
1	X	上	23.19	29	672.51	1456.00	2.16	○	-	-	○
		下	16.57	29	480.53	728.00	1.51	○	-	-	○
	Y	左	17.40	*11	191.40	364.00	1.90	○	-	-	○
		右	23.19	29	672.51	1092.00	1.62	○	-	-	○

- ① 有効面積は建物の幅、奥行き長さを1/4分割した部分の面積です。跳ね出しバルコニーは該当面積の40%を1階の有効面積に加算します。側端部分が複数に分かれている場合は△マークで表します。偏心率により壁の配置バランスを検討してください。
- ② 壁量係数欄の*は、「平屋建てまたは下屋」の係数を用いたことを表します。
- ④ 存在壁量は、「4分割法存在壁量明細表」を参照ください。
- 充足率判定が×の場合は、壁率比判定を行います。

【4分割法判定】

判定がすべて“○”の場合 → 適合
 判定がひとつでも“×”の場合 → 不適合

【4分割範囲】



4分割法判定
適合

4分割法存在壁量明細表 (1階)

日付: 2008年11月12日
建物コード: 000002
建物名: 伏図次郎

■1階X方向上の存在壁量(cm)

上	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y8	364.00	364.00	182.00	182.00	182.00								
y6	182.00													182.00
上 壁量合計(cm)													1456.00	

■1階X方向下の存在壁量(cm)

下	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y2	182.00												
y0	182.00	182.00	182.00											546.00
下 壁量合計(cm)													728.00	

■1階Y方向左の存在壁量(cm)

左	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	x0	182.00	182.00											
左 壁量合計(cm)													364.00	

■1階Y方向右の存在壁量(cm)

右	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	x11	364.00	182.00											
x14	182.00	182.00	182.00											546.00
右 壁量合計(cm)													1092.00	

- ・建物長さをそれぞれの方向で1/4境界線で分割した上下左右の区画に含まれる壁量を集計します。
- ・各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の有効壁量を壁1、壁2、…と表示しています。
(有効壁量 = 耐力壁の壁倍率 × 長さ とします)

4分割法存在壁量明細表 (2階)

日付: 2008年11月12日
建物コード: 000002
建物名: 伏図次郎

■2階X方向上の存在壁量(cm)

上	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y8	182.00	182.00	182.00										
上 壁量合計(cm)													546.00	

■2階X方向下の存在壁量(cm)

下	Y通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	y0	182.00	182.00	182.00										
下 壁量合計(cm)													546.00	

■2階Y方向左の存在壁量(cm)

左	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計	
	x4	182.00	182.00												364.00
	x6	182.00	182.00												364.00
左 壁量合計(cm)													728.00		

■2階Y方向右の存在壁量(cm)

右	X通り	壁1	壁2	壁3	壁4	壁5	壁6	壁7	壁8	壁9	壁10	壁11	壁12	合計
	x14	182.00	182.00	182.00										
右 壁量合計(cm)													546.00	

- ・建物長さをそれぞれの方向で1/4境界線で分割した上下左右の区画に含まれる壁量を集計します。
- ・各通りに存在する耐力壁(筋かい・面材)毎の有効壁量を壁1、壁2、…と表示しています。
(有効壁量 = 耐力壁の壁倍率 × 長さ とします)

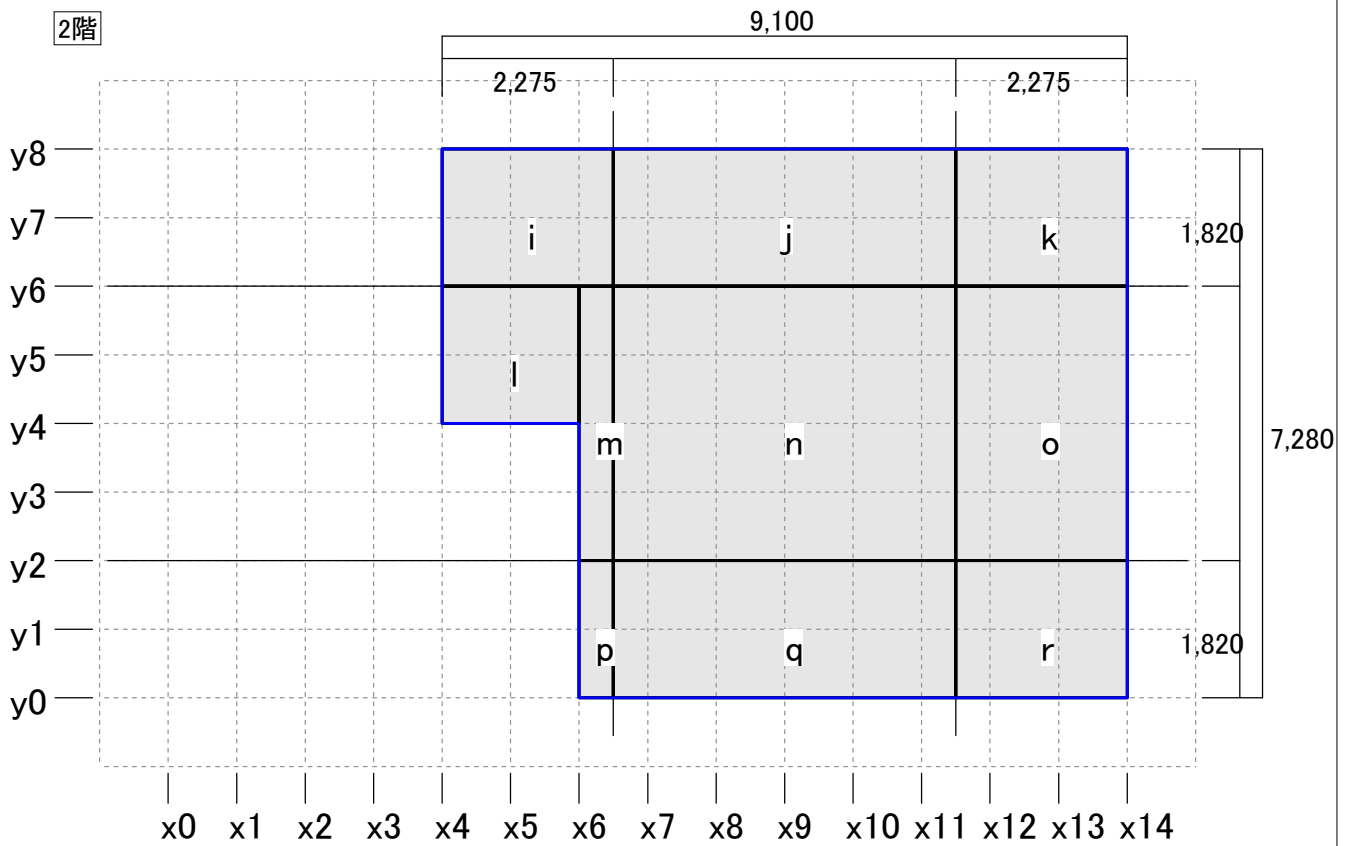
4分割法床面積根拠図

日付: 2008年11月12日

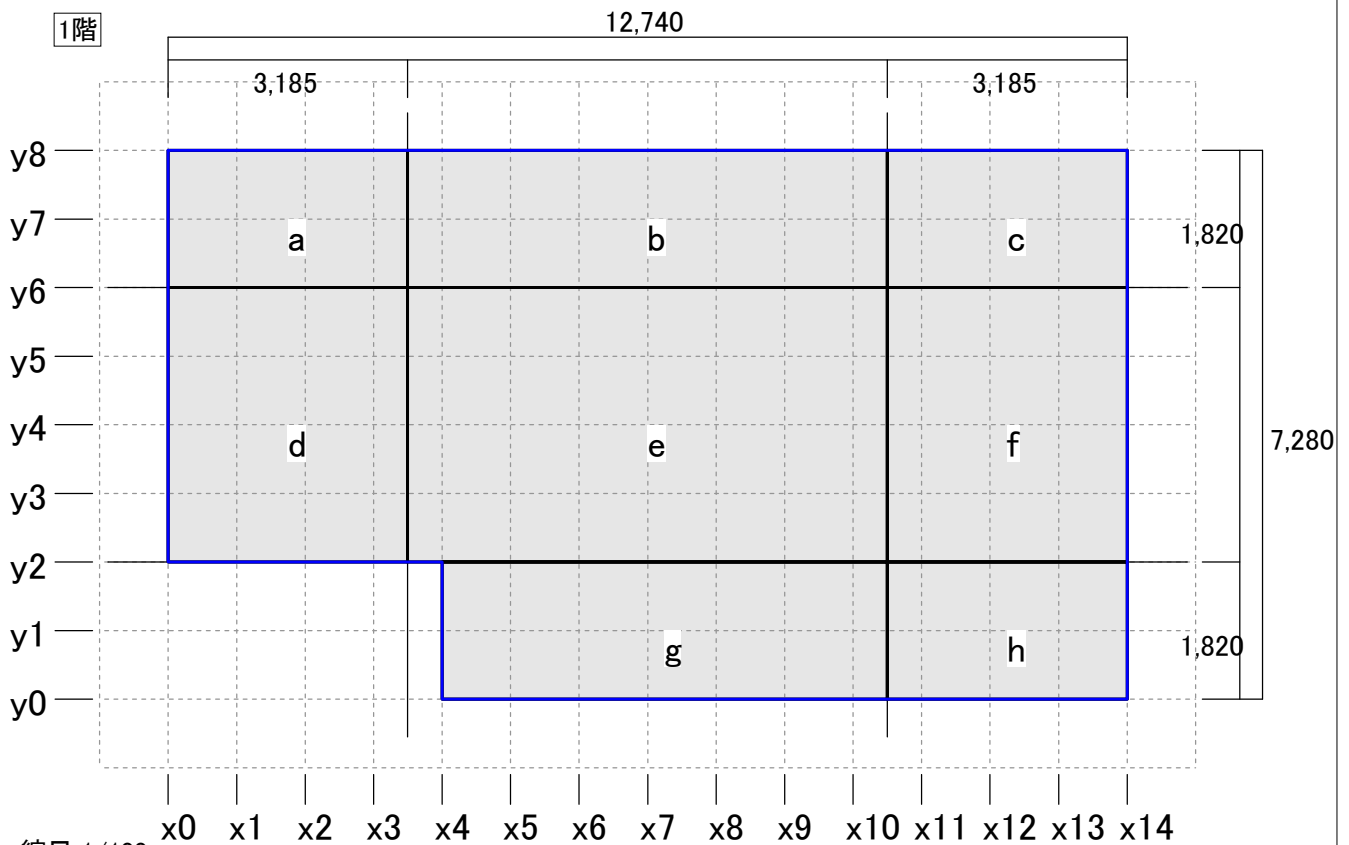
建物コード: 000002

建物名: 伏図次郎

2階



1階



縮尺 1/100

凡例

□ 床面積区画 ▨ オーバーハング ▩ バルコニー

a b c …… 床面積区画名

Ka Kb Kc …… 床面積区画名(小屋裏収納等)

Ba Bb Bc …… 床面積区画名(バルコニー)

4分割法床面積計算表

日付: 2008年11月12日
 建物コード: 000002
 建物名: 伏図次郎

■ブロック別床面積計算表

[1階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	1.820	3.185	5.7967000	
b	1.820	6.370	11.5934000	
c	1.820	3.185	5.7967000	
d	3.640	3.185	11.5934000	
e	3.640	6.370	23.1868000	
f	3.640	3.185	11.5934000	
g	1.820	5.915	10.7653000	
h	1.820	3.185	5.7967000	

[2階]

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (㎡)	備考
i	1.820	2.275	4.1405000	
j	1.820	4.550	8.2810000	
k	1.820	2.275	4.1405000	
l	1.820	1.820	3.3124000	
m	3.640	0.455	1.6562000	
n	3.640	4.550	16.5620000	
o	3.640	2.275	8.2810000	
p	1.820	0.455	0.8281000	
q	1.820	4.550	8.2810000	
r	1.820	2.275	4.1405000	

■4分割対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
2	X	上	(i+j+k)	16.57
		下	(p+q+r)	13.25
	Y	左	(i+l+m+p)	9.94
		右	(k+o+r)	16.57
1	X	上	(a+b+c)	23.19
		下	(g+h)	16.57
	Y	左	(a+d)	17.40
		右	(c+f+h)	23.19

■記号の説明

「備考」:

- → 跳ね出しバルコニー範囲(跳ね出し部分面積×0.4)
- ◇ → 小屋裏収納等範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1)
- ◆ → 小屋裏収納等重複範囲(小屋裏収納等の水平投影面積×1.4÷2.1×2)
- ▲ → 三角形区画